

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
0101	私学の振興	概ね順調に展開	給与差は概ね安定している。	-	賃金格差が拡がらないよう、引き続き、管理運営費補助金などを通じた支援を行う。
0102	北方領土復帰対策等の推進	概ね順調に展開	北方四島の一日も早い返還に向け返還要求運動を取り組んでいる。	-	北方四島の返還を切に願う元島民の方々は高齢となり、北方領土問題の解決に一刻の猶予も許されない状況であることから、北方領土の早期返還に向け、国や北方領土隣接地域、関係団体と十分連携しながら、SNSなど多様なメディアを活用した情報発信や、センター確保のため、全道の学校へのチラシ配布など啓発活動等を引き続き実施する。
0103	総合的な危機対策の推進	順調に展開	北海道地域防災マスター認定研修を実施するとともに、「巨大地震や津波災害から住民を守る、講師養成講座」を太平洋及び日本海沿岸振興局管内で実施する等、地域の防災リーダー育成に取り組んでいる。	-	引き続き、北海道地域防災マスター認定研修を実施するほか、オホーツク沿岸振興局管内での「巨大地震や津波災害から住民を守る、講師養成講座」や避難所運営等に女性の参画拡大を図るために防災講座などにより、地域の防災リーダーの育成等に努める。
0104	原子力安全対策の推進	順調に展開	当初計画どおり進んでいるため。	-	引き続き、防災訓練等の実施により関係機関との連携や防災業務関係者の対応能力の向上を図る。
0105	赤れんが庁舎の利用促進	効果的な取組を検討	改修工事中で指定管理者も指定されていないため。	北海道の歴史・文化等に関する理解を促進し、次世代に継承するために必要な人材を育成、確保することは重要であることから、関係者が連携し、セミナーや研修会を開催するなど北海道の歴史・文化に対する関心を高めるとともに、理解を深めるための取組について検討する必要がある。	令和7年4月の指定管理者の指定や令和7年7月のリニューアルオープンに向けて具体化していく。
0201	交通ネットワークの実現	効果的な取組を検討	道として人材確保に取り組んできているが、多くの事業者が未だ運転手不足に直面しており、地域交通を安定的に確保していくため、効果的な取組の検討をするべきであるため。	運転手不足による生活交通路線の大幅な縮小や廃止を防ぐため、関係団体と連携した合同就職相談会などの取組を進めているが、人材不足の解消には至っていないことから、取組を継続するとともに、地域交通を安定的に確保していくため、利用状況に応じた地域に最適な公共交通のあり方についても引き続き検討する必要がある。	人材確保に向けた取組を継続するとともに、更なる取組を検討する。
0202	総合交通ネットワークの形成	効果的な取組を検討	空港を支える人材の安定的な確保のため、引き続き、効果的な取組の検討をするべきであるため。	道内空港における航空路線の維持・拡充や輸出拡大に向けては、航空地上支援業務に係る人員の育成・確保は不可欠であることから、関係機関と連携の上、受入体制の強化に向けた取組をより一層進めるとともに、航空需要の増減にも柔軟に対応可能な受入環境の整備を促進する必要がある。	空港を支える人材を将来にわたり安定的に確保するため、引き続き、市町村や航空会社等が実施する若年層を対象とした航空教室など、空港の認知度向上や職業観の早期形成に向けた取組を支援する。また、道内地方空港における受入体制の強化に向け、空港運営会社、空港所在自治体等で構成される実行委員会に参画し、人材の確保や応援体制の構築に取り組んでいく。
0203	外国人材の受入	概ね順調に展開	外国人居住者数は堅調に推移しているため。	-	企業の人手不足感は今後も継続が予想されることから、引き続き、外国人材の道内企業への就労を促進する。
0204	科学技術の振興	順調に展開	「サイエンスパーク」などを通じ、次世代を担う青少年の創造性や科学する心を育む取組を推進しているため。	-	北海道科学技術賞や北海道科学技術奨励賞の贈呈を通じて優れた研究開発等を促進するとともに、科学技術への興味・関心を高める機会を提供するため「サイエンスパーク」を実施していく。
0206	物流機能の強化	効果的な取組を検討	道として、人材確保について取り組んできているが、事業者からは人材不足への声があったため、効果的な取組を検討するべきであるから。	物流における人員確保に向け、首都圏で実施されるU・Iターンフェアでの道内運輸業界のPRや若年層を対象とした物流現場見学会などを実施しているが、人材不足の解消には至っていないことから、一層の確保対策や関係機関と連携の上、物流の効率化に向けた取組などを検討する必要がある。	人材確保に向けた取組を継続するとともに、新たな取組や内容充実を図っていく。
0207	ロシアとの経済交流	見直しや改善が必要	ウクライナ情勢により、関係事業の実施が困難であるため。	ウクライナ情勢によりロシア各地域との交流は困難な状況であることから、引き続き、国や関係団体の動向を注視し、未来の地域間交流を担う人材の育成に向けた、適切な交流事業について検討する必要がある。	ウクライナ情勢を注視し、適切なロシア交流事業の実施を検討する。
0208	地域創生の推進	順調に展開	各振興局において、地域の実情に応じた取組を実施している。	-	今後も様々な機会を通じて地域の皆様の声を丁寧に伺い、地域課題を的確に把握するなど、地域の実情に応じた効果的な取組の推進に努める。

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
0209	地域政策の推進	概ね順調に展開	集落支援員制度の普及や地域遺産の有効活用に係る人材育成について一定の成果が出ているが、任用数や参加数等について地域間に温度差があるなど、課題が残るため。	—	集落支援員制度については、現在活用していない市町村への制度普及を引き続き進める。また、日本遺産等については、開催の時期やテーマ、対象など、各協議会等の意見をうまく汲み取って、より意義のある研修会、人材育成の場を構築する必要がある。
0210	市町村自治の振興	概ね順調に展開	国や道の制度を活用し、専門人材確保の取組や研修などの人材育成の取組を実施している地域が多くなってきていていることや、講習会等を開催し市町村の人材育成に寄与していると考えられるため。	—	専門人材の確保や育成については、課題として顕在化することが見込まれるため、引き続き、広域連携で取り組めるよう支援していく必要がある。また、今後も自治体職員向けの講習会等を実施し、市町村が多様化する行財政需要に対応するための人材育成に努める。
0211	移住定住の推進	概ね順調に展開	「しごと・住まい・暮らし」などの情報を発信するセミナー参加者数は年々増加傾向にあり、府内関係部や各振興局からのニーズも多い。地域おこし協力隊員数は増加しており、任期終了後の定住率も70%を超えているため。	—	引き続き、府内関係部や各振興局と連携し「しごと・住まい・暮らし」などの情報をさまざまな視点から発信していく。人口減少や少子高齢化が進行している本道において、地域おこし協力隊員は地域活性化に重要な存在となっていることから、地域おこし協力隊員の更なる確保・定住に向けて、今後も地域おこし協力隊員の応募から任期後の定住までのサポートの強化をはじめ、道内協力隊員の交流・連携を進めること。
0212	海外交流拡大の推進	概ね順調に展開	人材の育成・確保対策を含めた各部局の施策を推進しているため。	—	引き続き、全庁横断の会議等により国際関連業務に係る施策・事業の展開に関する情報共有及び連絡調整に関する国際関連施策の総合的に推進していく。
0213	グローバル人材等の育成	概ね順調に展開	助成対象者数はコロナ禍前の水準に復調し、応援パートナー・サポーターは堅調に推移しているため。	—	新型コロナウイルス感染症による海外留学先の入国制限がなくなり、留学希望者数が復調してきていることから、引き続き、教育機関などと連携しながら、若者の海外留学を支援していく。
0214	多文化共生の推進	順調に展開	令和5年度から日本語学習支援者養成講座を開催しており、日本語学習支援者となり得る人を育成できているため。	—	現在実施している事業を引き続き実施し、人材育成に係る部分の取組も実施していく。
0215	デジタルトランスフォーメーションの推進	概ね順調に展開	府内外に向けて様々な施策を展開しており、今後効果の発現が期待できる。	—	今後施策の効果を分析しながら、新たな取組の検討、取組の強化・見直し等を行って行く。
0301	安全で安心な地域づくり	概ね順調に展開	防犯ボランティア活動団体との連携が順調に図られている。	—	引き続き、道警や市町村など関係機関と協力し、防犯ボランティア団体結成の働きかけや結成後のサポートをはじめとした地域社会における防犯ボランティア活動の促進を図る。
0302	交通事故のないまちづくり	概ね順調に展開	関係団体と連携して交通安全運動を支える人材育成が行われている。	—	今後も引き続き、交通安全指導員の育成等や交通安全啓発活動を実施する関係団体に支援を実施する。
0303	消費生活の安定及び向上の推進	概ね順調に展開	地方消費者行政担い手育成研修の参加者（R5年度）は、一昨年よりは減少しているものの、対前年103%と増加しているため。	—	引き続き消費生活相談員資格の取得を支援する講座を開催し、相談員の資質の維持向上に取り組むとともに、「北海道消費生活相談員人材バンク」による市町村への人材情報の提供など、市町村における消費生活相談員の人材確保を支援する。
0304	人権が尊重される社会の実現	効果的な取組を検討	現状では、理解促進の啓発事業に地域の人権擁護委員にも参加いただき、情報共有を行うなどして、人材の育成を行っている。	人権を取り巻く環境が複雑・多様化する中、人権問題に関わる知識や経験を持つ方々との交流を通じて人権意識を育むことができるよう、地域の人権擁護委員や市町村等と連携を図りながら、人権に関する講演会や研修会を開催するなど学校や地域社会、企業などにおける人権教育・啓発を推進する担い手育成のための取組を検討する必要がある。	今後も引き続き、地域の人権擁護委員や、人権関連の講演会や研修会を開催する市町村等と連携して、学校や地域社会、企業などにおける担い手となる人材の育成に取り組む。
0305	男女平等参画社会の実現	効果的な取組を検討	各般的な取組を進めており、社会のあらゆる分野で男女の地位が平等を感じる人の割合も前年から0.9ポイント上昇したものの、未だ改善の余地がある。	男女平等参画に対する意識の向上や理解の促進を図るためにセミナーの開催、ホームページによる情報発信などに取り組んでいるが、男女の地位が平等を感じる人の割合は依然として低い状況にあることから、社会のあらゆる分野で女性が活躍できる環境づくりを進めるため、経済団体をはじめ関係機関などと連携し、女性の活躍を推進するための取組を検討する必要がある。	引き続き、社会で女性が活躍するための力の育成とこれを支える人材の育成を行うとともに、オール北海道で男女平等参画に係る意識の向上を図る。

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
0306	市民活動の促進	概ね順調に展開	令和3年度からは減少しているものの、講座の開催数、参加者数とも前年度と同程度で推移していることから、概ね順調に展開とした。	－	引き続き、市民活動団体と連携し、活力ある地域社会づくりに向けた人材育成の取組を推進する。
0307	自然環境及び生活環境の保全	概ね順調に展開	環境配慮活動実践者の割合が向上しているため。	－	道民意識調査の結果も踏まえ、ESD（持続可能な開発のための教育）やSDGsの考え方に基づき、地域における環境活動の指導的役割を担う人材の確保及び育成を図るとともに、育成した人材や各種環境教育プログラムを活用し、道民が気軽に参加できる環境教育の機会を提供する。
0308	自然環境の保全及び野生動物等の適正な管理	効果的な取組を検討	従来の取組に加え、新たに関係機関と連携を図り進めていく取組もあり、効果が現れるには一定の時間を要するため。	野生鳥獣対策を進めていくためには、担い手となる狩猟者の育成確保が重要であることから、道民の狩猟への関心を高めるとともに、狩猟者の社会的役割に対する人々の理解を深め、関係機関と連携し、地域課題を踏まえた担い手確保策の検討を進める必要がある。	総合的な野生鳥獣施策の担い手として重要な狩猟人口拡大のため、狩猟免許取得の促進を図る取組や各種保護事業に関する情報提供を通じ、道民の狩猟に対する関心を高めるとともに、狩猟者の社会的役割に対する人々の理解を深め、将来の捕獲の担い手の確保を図る。
0309	循環型社会の形成	概ね順調に展開	業界全体のイメージアップを図るために、継続して事業を実施していくことが必要であるため。	－	業界イメージ向上・人材育成のため、道内の学生を対象とした資源循環産業事業者の職場見学会や、社会人を対象とした資源循環産業に従事する人材の育成セミナー開催など、効果的な実施について引き続き検討する。
0310	独自の歴史・文化の発信・継承	概ね順調に展開	縄文遺跡群の担い手については、R4年度から継続してガイド研修・交流会を開催し、地域ガイドの担い手の育成に貢献しており、博物館における人材育成については、博物館実習生及びインターンシップ生の受入数が増加傾向であるため。	－	縄文遺跡群の担い手については、関係市町をとおした構成資産等ごとの地域ガイドへの活躍支援を行なうほか、新たに資産全体をとおしたガイド育成体制の構築を検討する。博物館における人材育成については、北海道博物館協会や地域の博物館などとも連携を深めながら取り組んでいく。
0311	文化芸術活動の振興	概ね順調に展開	文化活動を担う人材育成施策を実施した成果として、地域文化が継承され発展していると道民が感じている度合いを測る指標である「地域の文化的な環境に関する満足度」が増加傾向であるため。	－	引き続き、関係団体と連携して文化活動を担う人材の育成に資する取組を進めていく。
0312	アイヌ文化振興とアイヌの人たちの社会経済的地位の向上	概ね順調に展開	今年度の出前講座実施に向けて調整を進めているため。	－	道内外の高校、大学等教育機関との連携により、アイヌ工芸品製作の若手の担い手育成を進める。また、アイヌ語話者の育成に関しては国の動向を踏まえ、アイヌ民族文化財団等関係機関と連携しながら取組を進める。
0313	地域スポーツ活動の推進	効果的な取組を検討	総合型地域スポーツクラブ設置市町村数が減少傾向にあり、地域における人材が不足していることが理由として挙げられる。	スポーツ参画人口の拡大を図るために、地域住民が主体的に運営する総合型地域スポーツクラブの設置や地域のスポーツ指導者等の育成・確保を図る必要があることから、新たなクラブ設置促進に向けたアドバイザーの配置や指導者向けスポーツ教室への指導者の派遣など地域におけるスポーツ活動の推進に向けた取組について検討する必要がある。	総合型地域スポーツクラブの設置促進・質的向上に向け、アドバイザーの配置や情報交換会の開催などに取り組んできたところであり、今後は新たなクラブ設置に向け、未設置地域と連携した取組を検討していく。
0314	次世代アスリートの発掘・育成	概ね順調に展開	ジュニア育成は、成果の反映に年数を要するが、継続した取組が重要。 障がい者スポーツの初級指導員から中級、上級指導員へのステップアップには活動する場が必要。	－	引き続き、関係団体等と連携し取組を継続するとともに、道Webサイト、SNS等を活用し道内外へ周知を図る。
0401	食品の安全確保対策の推進	概ね順調に展開	継続的に取組を実施し、人材の育成・確保対策を推進できているため。	－	食品の安全性確保対策のために、北海道食品衛生監視指導計画に基づき、事業者に対し「HACCPに基づく衛生管理に関する講習会」を実施し、HACCPに基づく衛生管理の知識を有する人材の育成・確保に取り組んでいく。
0402	結婚・出産環境支援の充実	順調に展開	希望するすべての学校において出前講座を実施できており、これから結婚を控える若者世代に対して、意識啓発等による人材育成を図ることができたため。	－	既存の出前講座に加え、新たに大学卒業世代向けのワークショップを実施することで、若者世代の人材育成を図る。
0403	周産期医療体制の確保	効果的な取組を検討	産婦人科医師が減少しているため。	地域における産婦人科医師確保に向け、産科医等へ支給される分娩手当等の助成や医育大学における産婦人科医師等の養成に係る取組への助成など対策に取り組んでいるが、十分な結果につながっていないことから、人材の確保や施設整備など地域の医療機関に対するさらなる支援やICT技術を活用した遠隔妊婦健診など、安心して妊娠・出産できる医療体制の構築に向けた取組を検討する必要がある。	引き続き医育大学における産婦人科医師等の養成に係る取組に助成するほか、妊婦の診療に係る医療研修会の開催等の勤務環境改善に関する施策を着実に実施する。また、他の効果的な取組についての情報収集に努め、実施に向けた検討を行う。

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
0404	子どもの視点に立った施策推進	順調に展開	こどもや若者が安心して意見を表明できるよう、全ての意見交換会で外部ファシリテーター確保することができたため。	—	今後も外部ファシリテーターによる意見交換会の実施に努め、こどもや若者が安心して意見を表明できるよう、取り組みを継続していく。
0405	子育て支援の充実	効果的な取組を検討	保育士確保策を更に強化する必要があるため。	保育士の確保については、返還免除型の修学資金や再就職準備金の貸付、保育所と保育士のマッチング等の取組を進めてきたが、人材不足の解消には至っていないことから、これまでの取組の検証を行うとともに関係団体と連携を図り、マッチングの強化を図るなど保育士を目指す学生を増やすための新たな取組を検討する必要がある。	令和6年度から取り組んだ保育所の勤務環境の改善に向けた保育事業者コンサルタントの派遣などを実施する。また、他の効果的な取組について検証を行なうながら、関係団体との勉強会で整理した今後の保育士確保策の方向性を踏まえ、今後、保育士再就職支援コーディネーターによる再就職支援や保育士の魅力発信のためのポータルサイトの構築等、更なる保育士確保施策の取組を進めていく。
0406	小児医療体制の確保	効果的な取組を検討	道内の小児科を専門とする医師は増加傾向にあるものの、小児人口1万人当たりの医師数は全国平均を下回っているため。	小児科医師確保のため、医育大学における小児科医の養成に係る取組への助成や地域の医師等を対象とした小児救急に関する研修などの取組を実施しているが、小児人口1万人当たりの医師数は全国平均を下回っており、人材の確保や設備整備など地域の医療機関に対するさらなる支援やICT技術を活用した遠隔診療など、子育ての不安に対応できる環境づくりに向けた取組を検討する必要がある。	引き続き医育大学における小児科医師等の養成に係る取組に助成するほか、小児救急医療地域研修事業等の勤務環境改善に関する施策を着実に実施する。また、他の効果的な取組についての情報収集に努め、実施に向けた検討を行う。
0407	子どもを見守り育てる社会づくり	概ね順調に展開	一定程度の受講者数が確保できている。	—	研修受講は、即時効果だけではなく、業務を通じて身につき、発揮されるものもあることから、中長期的な人材育成状況を確認し、また、最新の知見に基づきながら、引き続き職員の専門性を高めていく。
0409	地域医療の確保	効果的な取組を検討	地域枠医師の配置等により医師少数区域への医師派遣数は増加している一方で、医師少数区域が11箇域に増加するなど医師の地域偏在が進んでいるため。 本道の看護職員は、令和4年度の調査で初めて減少に転じ、道内全体で不足が見込まれることに加え、地域偏在が見られるため。	医師や看護師の確保については、地域への医師派遣や地域勤務を条件とした修学資金貸与などの取組を進めてきたが、地域偏在の是正・解消には至っていないことから、医育大学や医師会等と連携を強化し、地域偏在の是正に向け取り組むとともに、看護職員が安定的に確保できるよう新規養成・就業定着、再就業促進対策を一層進めていく必要がある。	医師派遣や道外からの医師確保などの各施策が効果的なものとなるよう適宜見直しを行うとともに、医育大学や医師会、病院関係団体等との連携を強化しながら、医師偏在の是正に向け取り組んでいく。 関係機関と連携を図りながら、医療計画に基づき、新規養成・就業定着・再就業促進等の対策を一層推進し、地域において看護職員が安定的に確保できるよう取り組んでいく。
0410	高齢者や障がいのある人等が安心して暮らせる社会の形成	概ね順調に展開	コロナ前の水準に戻りつつあり、一部事業では過年度より実績が増加しているため。	—	ケアの質を確保しながら必要な介護サービスを提供していくためには、引き続き、介護支援専門員等資質向上事業などによる介護人材の質の向上に加え、外国人留学生生活支援事業による外国人などの多様な人材の参入や介護ロボット等導入支援事業による働きやすい職場づくりの支援などを行っていく必要がある。
0411	健康づくりの推進	順調に展開	受講者数が年々増加しており、道内において他団体等が実施する同様の研修が少なくニーズが高い。	—	引き続き、関係機関と連携し、特定健診・特定保健指導に従事する初任者を対象に研修会を実施し、人材の育成を推進する。
0412	がん対策の推進	順調に展開	拠点病院等は、精神腫瘍医をはじめ、がん看護専門看護師等の配置に努め、緩和ケアの質の向上に努めている。	—	引き続き、がん診療拠点病院と連携し、緩和ケアに従事する医療従事者を対象に研修会の実施による人材の育成を推進。
0413	高齢者や障がいのある人等の社会参加の促進	概ね順調に展開	セミナー等の参加者数等の統計値について、過年度より増加しているため。	—	地域の活力を維持・向上させていくために、「アクティビシニア等活躍支援事業」による活躍支援セミナー等の開催などにより、引き続き活躍できる機会の確保に向けた支援を行っていく必要がある。
0414	薬物乱用防止対策の推進	概ね順調に展開	指導員の確保については引き続き課題ではあるが、北海道薬物乱用防止指導員に対する研修や指導員による薬物乱用防止教室などの取組が進められている。	—	引き続き、指導員の確保に向けて市町村や関係団体と連携するとともに、指導員に対する研修や指導員による薬物乱用防止教室など、薬物乱用防止対策に取り組む。
0415	困難な問題を抱える女性等への支援	効果的な取組を検討	民間団体の安定的な活動のため、人材確保に向けた取組が課題となっており、より効果的な取組について検討する必要がある。	女性の抱える問題が多様化、複雑化しており、相談対応を行う職員等の専門的知識の習得や資質の向上を図るなど相談体制の整備が重要であることから、相談対応力向上のための研修等を実施するとともに、民間団体が実施する研修や各種事業の支援など地域における相談・支援体制の充実に向けた取組の検討が必要である。	引き続き地域の人材の育成・確保のため、国の研修プログラムも活用しながら、地域課題に即した研修機会の確保に努めるほか、民間団体が行う相談・支援の取組に対する財政的支援を拡充する。

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
0416	感染症対策の推進	概ね順調に展開	各保健所では順次、研修を実施しているほか、協定締結医療機関等の医療従事者を対象とした研修についても、下半期での実施に向けて検討を進めしており、概ね人材の育成、確保の取組が進んでいくため。	－	北海道感染症予防計画や北海道新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、保健所が健康危機管理の拠点として適切に対応できるよう保健所職員に研修等を実施するほか、医療機関や福祉施設の従事者を対象とした研修会や、訓練を通じて対応能力の向上を図るなど、人材育成を平時から進めていく。
0417	災害時医療提供体制の強化	順調に展開	施策目標に沿った取組が継続されているため。	－	本道においても大規模自然災害の発生が危惧される中、より実効性の高い訓練等を実施し、道内災害医療体制の充実を図る。
0501	道産食品の高付加価値化と販路拡大	概ね順調に展開	食関連産業を牽引する人材の継続的な育成により、「食品工業の付加価値額」や「商談会等における道産食品等の国内成約件数」等、成果指標に改善傾向が見えるため。	－	北海道ブランドの確立のためには、地域における企業や団体など関係者との連携体制や推進体制の構築、研究機関等の支援による付加価値の高い商品の磨き上げなどが必要であることから、道内関係企業・団体と一緒に連携を図りながら、専門人材の育成に取り組む。
0502	道産食品の輸出拡大	概ね順調に展開	中国等による日本産水産物の輸入停止措置による影響はあるものの、令和4年度には道産食品輸出額が過去最高を更新するなど、道内事業者による輸出に向けた取り組みが進んでいるため。	－	輸出を取り巻く環境の変化を踏まえ、道産食品の輸出拡大に向け、輸出に取り組む意欲ある担い手の育成と新市場に挑戦する事業者のサポート体制の強化等、新たな輸出拡大戦略に基づき、道内事業者の輸出に向けた取組をオール北海道で支援していく。
0503	誘客活動の推進	概ね順調に展開	観光関係事業者と連携し、人材確保・育成に取り組んでいる。	－	教育機関との連携を引き続き進め、授業や単位として参加する学生にもメリットがある取り組みとしていく必要がある。 引き続き人材研修を実施し、より良い観光受入体制整備に努める。
0504	アドベンチャートラベルの推進	概ね順調に展開	ATWS2023を踏まえ、ガイドの英語力をはじめとしたガイディング力の向上を課題として捉え、課題解決に向けた各種研修事業を展開しているため。	－	引き続き、英語研修や海外派遣研修等を実施するほか、潜在的なガイド人材確保に向けて資格をPRするセミナー等を開催し、質の高いガイド人材の育成・確保に取り組む。
0505	観光地づくりの推進	概ね順調に展開	観光関係事業者と連携し、人材確保・育成に取り組んでいる。	－	教育機関との連携を引き続き進め、授業や単位として参加する学生にもメリットがある取り組みとしていく必要がある。 引き続き人材研修を実施し、より良い観光受入体制整備に努める。
0506	地球温暖化対策の推進	概ね順調に展開	区域施策編の策定自治体数は着実に増加しており、計画策定から実行段階へのフェーズに移行し、実践的な研修機会への参加率も向上している。	－	2030年の中間年を見据え、地域の実践人材育成については継続して実施するとともに、R7年度のパリ協定に基づく温室効果ガス削減目標の見直しなど、社会情勢に対応した市町村支援策について事前に検討を進める。
0507	省エネ促進・新エネ導入拡大	順調に展開	現在予定どおり準備中のため。	－	セミナー等を開催するなど新エネルギー導入への意識醸成を図り、地域における取組の中心となる専門人材の育成・確保に努める。
0508	環境・エネルギー産業の振興	順調に展開	出前授業については非常に好評であり、今年度は複数の教育機関から開催を希望されている。補助金についても、現時点では1件のみであるが、交付決定を行っている。 セミナー、フォーラム等の開催・準備については、予定どおり進んでいる。	－	出前授業については、教育機関からの希望を踏まえ時期や内容を検討したうえで実施する。補助金については、関係部署と連携し、GX関連の会議等で一層の周知を行う。また、対象となる中小企業は補助金に不慣れな場合が多いので、申請可否の相談対応や手続きのサポートを継続して行う。 引き続きセミナー、フォーラム等の開催・準備を進める。
0509	災害にも活用できるエネルギー事業環境整備	順調に展開	現在予定どおり準備中のため。	－	セミナー等を開催するなど新エネルギー導入への意識醸成を図り、地域における取組の中心となる専門人材の育成・確保に努める。
0510	デジタル関連企業の集積	概ね順調に展開	セミナーの参加者数は増加傾向で推移するなど、本道の立地優位性をPRしながらの誘致活動が展開出来ているため。	概ね順調に展開しているが、今後、デジタル関連産業の集積に向け、専門人材の育成・確保がますます重要となることから、取組をさらに加速させていく必要がある。	セミナーの開催などを通じた本道の立地優位性のアピールに加え、企業立地補助金や国の支援制度の活用促進のほか、道内自治体や関係部署と連携した企業の人材確保に向けた支援を行いながら、引き続きデジタル関連企業の誘致と人材確保を一体的に進めていく。

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
0511	半導体関連産業の振興	概ね順調に展開	半導体関連事業はR5年度より開始であるため、実績値とは直結しないが、必要な取組を着実に実施している。	概ね順調に展開しているが、今後、半導体・デジタル関連産業の集積に向け、専門人材の育成・確保がますます重要となることから、取組をさらに加速させていく必要がある。	今年度から半導体人材の安定供給に向けて、高校生を対象とした出前講座に加え、小中学生を対象に半導体への理解を促す体験教室を開催するなど取組を拡充している。また、来年度から半導体人材の育成に向け、札幌市・千歳市と連携し、北海道大学・公立千歳科学技術大学の資源を活用した取組を実施する。
0512	ものづくり産業の振興	概ね順調に展開	教育機関からの要望もあり、参加者からの評価も高い。	—	地域産業支援機関などと連携し、ものづくり企業の生産性向上、多角化や業態変化、就業環境の改善などの専門家派遣、一般求職者、高校、高専、大学等の新規学卒者等を対象としたものづくり企業の現場見学会や出前授業の開催、商談会への出展など道内ものづくり企業PRに取り組み、ものづくりへの理解や就業の促進、新分野参入、技術開発、販路拡大を支援する。
0513	健康長寿・医療関連産業の振興	概ね順調に展開	研修会やセミナー等の取組を通じ、ヘルスケア産業・サービスへ参入する企業が目標値を上回る増加であるため。	—	今後もヘルスケア産業・サービスへの参入に向けた研修会、セミナー等の取組を通じ、ヘルスケア産業における多様なニーズに対応できる人材の確保・育成を図る。
0514	宇宙航空産業の振興	順調に展開	参加者アンケートの結果、各事業の満足度がとても高い。	—	学生・求職者向けの企業説明会や見学会を通して宇宙関連産業の魅力や将来性をPRするとともに、成長拡大期のスタートアップから要望の多い「異業種からの転職・即戦力人材」の誘致に向けて、startup hokkaidoの取組みとの連携も取りながら事業を推進する。
0515	スタートアップ創出・集積の促進	概ね順調に展開	スタートアップの創出・集積数は増加するなど、スタートアップエコシステムの拡大・強化に向けた取組が展開できている。	—	引き続き、スタートアップの創出・集積に向けて、伴走支援による起業家の育成や、ビジネス環境の国内外へのPRなどに取り組む。
0516	企業誘致の推進・集積の促進	効果的な取組を検討	セミナーは、ものづくり産業への理解や企業のPRとして効果があるものの、直接雇用に繋がっていないため、見直しを検討。	ものづくり産業における理系人材やDXへの対応に向けたデジタル人材など幅広い業種での人材不足の解消に向けて道外でのセミナーや展示会などを開催しているが、ものづくり産業への理解や企業のPRとして効果があるものの、雇用の確保に直接つながっていないことから、企業の人材確保に向けた支援について検討する必要がある。	立地企業へのフォローアップを重視し、企業への雇用のアドバイス等を行う専門家派遣を実施するなど人材確保に取り組む。
0517	産業人材の育成	順調に展開	令和5年の就業率は57.6%と前年に比べ1.2ポイント上昇しているほか、MONOテクや障害者職業能力開発校での職業訓練や民間教育訓練期間を活用した委託訓練の実施、事業主団体が行う事業内訓練への支援など、地域の実情に応じた職業能力開発の推進に努めることにより職業生活の安定に寄与したため。	—	MONOテクにおける機械設備については、原材料費の高騰による機器の値上がりや機器の老朽化に伴う修繕などによりこれまで以上の拡充は困難なため、訓練生の安全確保を最優先したものとする。 引き続き、デジタル化の推進といった産業界や地域のニーズを踏まえた多様な人材育成と技能の振興・継承を図るため、資格取得を目指すデジタル人材育成の訓練コースを設置するほか、デジタル分野以外の訓練コースにおいてもデジタルリテラシー向上促進を図るなど、効果的な取組を推進していく。 地元自治体や関係機関などと連携して、MONOテクのPRや情報発信をはじめとした入校促進を引き続き行っていく。
0518	産業人材の確保	効果的な取組を検討	各施策は着実に実施しているものの、引き続き人手不足は進行しているため。	産業人材の確保については、移住関連施策と連携したU・Iターンの促進や多様な労働人材の取り込みなどのほか、地元企業における魅力ある職場づくりに向けた意識改革の促進を図っているが、人手不足は解消されていない状況であり、府内に設置している「北海道人材確保対策推進本部」のもと、各部局の連携を強化し、道外からの人材誘致や職場定着に向けた就業環境改善などへの支援、女性・高齢者など多様な人材の確保に向けた取組を検討する必要がある。	「北海道人材確保対策推進本部」における連携の強化を図り、各部局の施策間の協力をより一層進め、首都圏等の学生に向けたUJターンの促進に加え、新たに移動費・移転費の支援を行うとともに、首都圏からの移住者への更なる情報発信、専門家による道内企業向け採用・就業環境改善支援などにより、地域企業の人材確保に努める。
0519	雇用の受け皿づくり	概ね順調に展開	国の地域活性化雇用創造プロジェクトを活用した産業振興と雇用施策の一体的な取組により、概ね成果目標を達成しているため。	—	引き続き、国の地域活性化雇用創造プロジェクトを活用しながら、各部（課）、各振興局の産業振興施策と雇用施策の一体的な取組を進めていく。

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
0520	仕事と家庭の両立支援	概ね順調に展開	概ね成果目標を達成しているが、今後とも仕事と家庭の両立が可能となる職場環境の整備を一層促進していく必要があるため。	—	仕事と家庭の両立が可能となる職場環境を整備するためには、企業における働き方改革の取組を推進する必要があることから、関係法令や制度の普及啓発を行うとともに、働き方改革に取り組む企業の認定を行うなど、誰もが働きやすい職場環境づくりを支援する。
0521	多様な人材の就業促進	概ね順調に展開	各支援機関が連携して就業支援を一体的に実施してきており、若年者、女性、高齢者の就業率は上昇傾向にある。また、障がいのある人の実雇用率についても全国平均を上回っている。	—	若年者、女性、高齢者など多様な方々の労働参加を促進するため、引き続き、各支援機関が連携して効果的な就業支援を一体的に実施していく。
0522	就業環境の整備	概ね順調に展開	概ね成果目標を達成しているが、今後とも仕事と家庭の両立が可能となる職場環境の整備を一層促進していく必要があるため。	—	年次有給休暇の取得率が伸び悩んでいるなど、職場環境を整備するためには、企業における働き方改革の取組を推進する必要があることから、各地域におけるセミナーの開催や専門家による個別支援等を通じて関係法令や制度の普及啓発とともに、働き方改革に取り組む企業の認定を行うなど、誰もが働きやすい職場環境づくりを支援する。
0523	中小・小規模企業の振興	順調に展開	中小企業等からの人材育成等に関する相談に対し、関係機関が連携するなど、迅速かつ適正な対応につなげることができている。 中小・総合振興資金により、中小企業等に対して資金供給の円滑化が図られている。	—	引き続き、地域中小企業支援ネットワークやメールマガジン等を活用し、必要な情報提供等を行うとともに、中小企業総合振興資金により、中小・小規模企業等に対して、資金供給の円滑化を図る。 また、地域課題の解決や北海道の優位性を活用した起業を支援するとともに、支援機関との連携強化を図り、事業承継の促進に努める。
0524	地域商業の活性化	概ね順調に展開	各団体による人材育成・確保に関する取組は、それぞれ行われる予定であるため。	—	暮らしと消費生活の基盤であり、地域コミュニティの場としての役割を担う地域商業の活性化を促すため、事業者や商工団体の自主的な取組を促進するとともに、関係団体が行う商店街活動を担うリーダーや後継者の育成、組織強化の取組を支援していく。
0601	農業農村整備の推進	効果的な取組を検討	農業農村整備に関わる人材の育成は進んでいるものの、人材不足については解消に至っていないことから、将来、農業農村整備に携わりたいと考える人材の裾野を広げられるよう若年層に対し、整備の重要性や取組に係る情報発信を行うなど人材確保に向けた取組について検討する必要がある。	農業農村整備に関わる人材の育成を進めてはいるものの、人材不足については解消に至っていないことから、将来、農業農村整備に携わりたいと考える人材の裾野を広げられるよう、地域の中高生を対象に、建設産業の重要性や農業農村整備の取組などの情報を発信する。	行政機関や関係団体、建設業界が連携して、将来、農業農村整備関係に携わりたいと考える人材の裾野を広げられるよう、地域の中高生を対象に、建設産業の重要性や農業農村整備の取組などの情報を発信する。
0602	農業生産の振興	順調に展開	研修参加人数が堅調に増加しているため。	—	スマート農業技術の効果発現を目的とした研修等を実施することで、技術の活用・導入に向けた指導的人材の育成を図っていく。
0603	高付加価値農業の推進	順調に展開	研修参加者へのアンケートで、毎回8割以上が内容に満足だったとの回答であったため。	—	6次産業化サポートセンター等と連携しながら、6次産業化等人材育成研修会の開催などにより、現在の状況に対応した6次産業化に取り組む事業者を育成する。
0604	農業の担い手の育成・確保と農業経営の総合的な体质強化	概ね順調に展開	各取組が概ね計画どおりに進捗しているため。	—	関係機関と連携しながら、就農相談会や各種研修会を開催するなど、引き続き、多様な担い手の育成・確保を進めていく。
0605	農村活性化対策の推進	順調に展開	受入農業者等の意欲向上を図るセミナーの参加者アンケートでは、9割以上が、受入に関して参考になったとの結果であったため。	—	受入人材の育成・確保に係るセミナーを開催するなど、農村ツーリズムの受入体制強化に向け着実に推進する。
0606	安全・安心な食品づくりと愛食運動の推進	効果的な取組を検討	食育に関わる人材については事例発表会やコーディネーターの派遣等を通じ、育成に取り組んでいるが、人材不足の解消には至っていないことから、食育の魅力や活動内容を発信するとともに、食育の重要性を伝えるため、地域の団体等と連携した事例発表会やイベントを開催するなど、食育に関わる人材を増やすための取組を検討する必要がある。	食育に関わる人材については事例発表会やコーディネーターの派遣等を通じ、育成に取り組んでいるが、人材不足の解消には至っていないことから、食育の魅力や活動内容を発信するとともに、食育の重要性を伝えるため、地域の団体等と連携した事例発表会やイベントを開催するなど、食育に関わる人材を増やすための取組を検討する必要がある。	食育に関わる人材確保のため、食育事例発表会や地域段階において食育ネットワーク会議を開催するなど、食に関わる関係者のネットワークをさらに強化していく。
0607	農業における脱炭素化の推進	効果的な取組を検討	環境負荷低減活動に取り組む農業者の認定は進んでいるものの、農業者全体からみると認定数が少數であるため。	環境に配慮した環境負荷低減活動に取り組む農業者の認定は進んでいるものの、農業者全体から見ると認定数が少數であることから、こうした取組が広がるよう、普及啓発を進めるなどの効果的な取組の検討が必要である。	農業負荷低減活動の取組拡大に向けて、生産者や行政機関、関係団体に対し、みどりの食料システム戦略の意義や、環境負荷低減活動の取組事例などを情報発信する。

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
0608	農業農村基盤整備における防災・減災対策の推進	順調に展開	地元関係機関・団体の職員数は引き続き減少傾向にあるが、技術力の低下や担い手不足を道と各関係機関の連携により補完し、防災工事等を着実に推進している。 施設管理者の取組に係る理解の醸成や技術力の向上が図られている。	-	地元関係機関・団体と連携の上、防災減災対策を着実に推進するとともに、施設管理者に対し各種研修会を通じて人材育成に向けた取組を行う。
0701	水産業の振興	効果的な取組を検討	年度毎の増減があり、中長期の傾向としては減少が継続と推定。	少子高齢化により若年労働力人口が減少する中、不安定な収入、厳しい労働環境にあることなども若年就業者が減少している要因であることから、引き続き、経営の安定化、就労環境の整備改善など漁業就業者の育成・確保に取り組むとともに、さらなる効果的な取組を検討する必要がある。	北海道漁業就業支援協議会と連携して、道内外への就業情報の発信や就業支援フェア等を活用した就業希望者と受入者とのマッチング機会を創出するこれまでの取組に加え、新規事業により、漁業就業支援フェア等の広告展開を強化、ミスマッチ回避を図る就業希望者向けセミナーと、雇用条件明確化・新人指導に関する受入漁業者向けセミナーを開催し、情報発信の強化等に取り組むとともに、事業継続に向けた検討を行なうことにより、漁業就業への関心を高め新規漁業就業の促進を図る。
0702	道産水産物の高付加価値化と販路拡大	効果的な取組を検討	年度毎の増減があり、中長期の傾向としては減少が継続と推定。	少子高齢化により若年労働力人口が減少する中、不安定な収入、厳しい労働環境にあることなども若年就業者が減少している要因であることから、引き続き、経営の安定化、就労環境の整備改善など漁業就業者の育成・確保に取り組むとともに、さらなる効果的な取組を検討する必要がある。	北海道漁業就業支援協議会と連携して、道内外への就業情報の発信や就業支援フェア等を活用した就業希望者と受入者とのマッチング機会を創出するこれまでの取組に加え、新規事業により、漁業就業支援フェア等の広告展開を強化、ミスマッチ回避を図る就業希望者向けセミナーと、雇用条件明確化・新人指導に関する受入漁業者向けセミナーを開催し、情報発信の強化等に取り組むとともに、事業継続に向けた検討を行なうことにより、漁業就業への関心を高め新規漁業就業の促進を図る。
0703	漁村の活性化	効果的な取組を検討	年度毎の増減があり、中長期の傾向としては減少が継続と推定。	少子高齢化により若年労働力人口が減少する中、不安定な収入、厳しい労働環境にあることなども若年就業者が減少している要因であることから、引き続き、経営の安定化、就労環境の整備改善など漁業就業者の育成・確保に取り組むとともに、さらなる効果的な取組を検討する必要がある。	北海道漁業就業支援協議会と連携して、道内外への就業情報の発信や就業支援フェア等を活用した就業希望者と受入者とのマッチング機会を創出するこれまでの取組に加え、新規事業により、漁業就業支援フェア等の広告展開を強化、ミスマッチ回避を図る就業希望者向けセミナーと、雇用条件明確化・新人指導に関する受入漁業者向けセミナーを開催し、情報発信の強化等に取り組むとともに、事業継続に向けた検討を行なうことにより、漁業就業への関心を高め新規漁業就業の促進を図る。
0704	漁業経営体の育成・人材確保	効果的な取組を検討	年度毎の増減があり、中長期の傾向としては減少が継続と推定。	少子高齢化により若年労働力人口が減少する中、不安定な収入、厳しい労働環境にあることなども若年就業者が減少している要因であることから、引き続き、経営の安定化、就労環境の整備改善など漁業就業者の育成・確保に取り組むとともに、さらなる効果的な取組を検討する必要がある。	北海道漁業就業支援協議会と連携して、道内外への就業情報の発信や就業支援フェア等を活用した就業希望者と受入者とのマッチング機会を創出するこれまでの取組に加え、新規事業により、漁業就業支援フェア等の広告展開を強化、ミスマッチ回避を図る就業希望者向けセミナーと、雇用条件明確化・新人指導に関する受入漁業者向けセミナーを開催し、情報発信の強化等に取り組むとともに、事業継続に向けた検討を行なうことにより、漁業就業への関心を高め新規漁業就業の促進を図る。
0705	安全・安心な水産物の供給	効果的な取組を検討	年度毎の増減があり、中長期の傾向としては減少が継続と推定。	少子高齢化により若年労働力人口が減少する中、不安定な収入、厳しい労働環境にあることなども若年就業者が減少している要因であることから、引き続き、経営の安定化、就労環境の整備改善など漁業就業者の育成・確保に取り組むとともに、さらなる効果的な取組を検討する必要がある。	北海道漁業就業支援協議会と連携して、道内外への就業情報の発信や就業支援フェア等を活用した就業希望者と受入者とのマッチング機会を創出するこれまでの取組に加え、新規事業により、漁業就業支援フェア等の広告展開を強化、ミスマッチ回避を図る就業希望者向けセミナーと、雇用条件明確化・新人指導に関する受入漁業者向けセミナーを開催し、情報発信の強化等に取り組むとともに、事業継続に向けた検討を行なうことにより、漁業就業への関心を高め新規漁業就業の促進を図る。
0706	森林吸収源対策の推進	効果的な取組を検討	林業従事者数は道内では概ね横ばいで推移しているが、造林分野では減少傾向にあるため。	林業従事者は高齢者の占める割合が高く、こうした方々の退職等に伴い、今後、急激な従事者の減少に加え、技術の伝承といったことが懸念されることから、若手従事者の技術向上を図ることはもとより、北森カレッジの入学者を道内外から広く確保し、道内各地への就業につなげるなど、新規就業者の確保・定着に向けたさらなる取組の検討が必要である。	北森カレッジの入学者を道内外から広く確保するため、北森カレッジ独自のカリキュラムをSNSなど多様なツールにより積極的に発信するとともに、道内高校への働きかけを強化するほか、社会人を対象としたオンライン面接による入試を引き続き実施する。

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
0707	林業・木材産業の振興	効果的な取組を検討	林業従事者数は道内では概ね横ばいで推移しているが、造林分野では減少傾向にあるため。	林業従事者は高齢者の占める割合が高く、こうした方々の退職等に伴い、今後、急激な従事者の減少に加え、技術の伝承といったことが懸念されることから、若手従事者の技術向上を図ることはもとより、北森カレッジの入学者を道内外から広く確保し、道内各地への就業につなげるなど、新規就業者の確保・定着に向けたさらなる取組の検討が必要である。	北森カレッジの入学者を道内外から広く確保するため、北森カレッジ独自のカリキュラムをSNSなど多様なツールにより積極的に発信するとともに、道内高校への働きかけを強化するほか、社会人を対象としたオンライン面接による入試を引き続き実施する。
0708	豊かな森づくりの推進	効果的な取組を検討	林業従事者数は道内では概ね横ばいで推移しているが、造林分野では減少傾向にあるため。	林業従事者は高齢者の占める割合が高く、こうした方々の退職等に伴い、今後、急激な従事者の減少に加え、技術の伝承といったことが懸念されることから、若手従事者の技術向上を図ることはもとより、北森カレッジの入学者を道内外から広く確保し、道内各地への就業につなげるなど、新規就業者の確保・定着に向けたさらなる取組の検討が必要である。	北森カレッジの入学者を道内外から広く確保するため、北森カレッジ独自のカリキュラムをSNSなど多様なツールにより積極的に発信するとともに、道内高校への働きかけを強化するほか、社会人を対象としたオンライン面接による入試を引き続き実施する。
0709	林業担い手対策	効果的な取組を検討	林業従事者数は道内では概ね横ばいで推移しているが、造林分野では減少傾向にあるため。	林業従事者は高齢者の占める割合が高く、こうした方々の退職等に伴い、今後、急激な従事者の減少に加え、技術の伝承といったことが懸念されることから、若手従事者の技術向上を図ることはもとより、北森カレッジの入学者を道内外から広く確保し、道内各地への就業につなげるなど、新規就業者の確保・定着に向けたさらなる取組の検討が必要である。	北森カレッジの入学者を道内外から広く確保するため、北森カレッジ独自のカリキュラムをSNSなど多様なツールにより積極的に発信するとともに、道内高校への働きかけを強化するほか、社会人を対象としたオンライン面接による入試を引き続き実施する。
0801	インフラ分野の脱炭素化の推進	順調に展開	新築住宅の省エネ基準への適合率が年々増加傾向にあることから、省エネ性能を確保することができる技術力を身につけた技術者も増加していると考えられるため。	—	引き続き、「北方型住宅技術講習会」や建築関係団体と連携したセミナー等の開催により、技術者の育成を図る。
0802	大規模自然災害対策の推進	概ね順調に展開	建設産業における高齢化や担い手不足が深刻化している状況ではあるが、入職の促進や生産性向上の取組、将来の担い手となる若者や子どもたちに建設産業の役割や魅力を発信する取組等を着実に進めているため。	—	入職の促進や生産性向上に向け取り組むほか、建設業団体等が行う担い手の確保・育成に資する取組に要する経費の一部支援を行うとともに、国や建設業団体、教育機関等と連携し、引き続き、担い手の確保・育成の取組を推進する。
0803	住宅・建築物の耐震化の促進	概ね順調に展開	建設産業における高齢化や担い手不足が深刻化している状況ではあるが、入職の促進や生産性向上の取組、将来の担い手となる若者や子どもたちに建設産業の役割や魅力を発信する取組等を着実に進めているため。	—	入職の促進や生産性向上に向け取り組むほか、建設業団体等が行う担い手の確保・育成に資する取組に要する経費の一部支援を行うとともに、国や建設業団体、教育機関等と連携し、引き続き、担い手の確保・育成の取組を推進する。
0804	公共土木施設の整備・維持管理・更新の推進	概ね順調に展開	建設産業における高齢化や担い手不足が深刻化している状況ではあるが、入職の促進や生産性向上の取組、将来の担い手となる若者や子どもたちに建設産業の役割や魅力を発信する取組等を着実に進めているため。	—	入職の促進や生産性向上に向け取り組むほか、建設業団体等が行う担い手の確保・育成に資する取組に要する経費の一部支援を行うとともに、国や建設業団体、教育機関等と連携し、引き続き、担い手の確保・育成の取組を推進する。
0805	都市施設の整備・維持管理・更新の推進	概ね順調に展開	建設産業における高齢化や担い手不足が深刻化している状況ではあるが、入職の促進や生産性向上の取組、将来の担い手となる若者や子どもたちに建設産業の役割や魅力を発信する取組等を着実に進めているため。	—	入職の促進や生産性向上に向け取り組むほか、建設業団体等が行う担い手の確保・育成に資する取組に要する経費の一部支援を行うとともに、国や建設業団体、教育機関等と連携し、引き続き、担い手の確保・育成の取組を推進する。
0806	住まい・まちづくりの推進	順調に展開	「北の住まいのタウン」の取組に対する参加者数が年々増やせているため。	—	「北の住まいのタウン」の取組を引き続き実施する。
0807	建設産業の振興に向けた取組	概ね順調に展開	建設産業における高齢化や担い手不足が深刻化している状況ではあるが、入職の促進や生産性向上の取組、将来の担い手となる若者や子どもたちに建設産業の役割や魅力を発信する取組等を着実に進めているため。	—	入職の促進や生産性向上に向け取り組むほか、建設業団体等が行う担い手の確保・育成に資する取組に要する経費の一部支援を行うとともに、国や建設業団体、教育機関等と連携し、引き続き、担い手の確保・育成の取組を推進する。
0808	誰もが安心して住み続けられる住まいづくりの推進	順調に展開	技術者の育成等について、研修会の開催や国への要望等を実施したため。	—	建築業界の担い手確保や技術者の育成等に向けた取組を引き続き実施する。
0809	道路網の充実	概ね順調に展開	建設産業における高齢化や担い手不足が深刻化している状況ではあるが、入職の促進や生産性向上の取組、将来の担い手となる若者や子どもたちに建設産業の役割や魅力を発信する取組等を着実に進めているため。	—	入職の促進や生産性向上に向け取り組むほか、建設業団体等が行う担い手の確保・育成に資する取組に要する経費の一部支援を行うとともに、国や建設業団体、教育機関等と連携し、引き続き、担い手の確保・育成の取組を推進する。

## 特定課題評価（人材の育成・確保）への対応

施策コード	施策名	一次政策評価	評価理由	二次政策評価	今後の対応
1101	新しい時代に必要となる資質・能力の育成	概ね順調に展開	研修会の実施や、学校巡回によって、教員の授業力向上が図られているため。	－	新しいかたちの学びの授業力向上推進事業において、T・T（チーム・ティーチング）や校内研修等による授業力向上に向けた取組の実施。
1102	体力・運動能力の向上や健康教育・食育の充実	概ね順調に展開	小学校における課題校への訪問指導において、再訪問の希望が自発的に挙げられたこと、中学校の研修におけるアンケートにおいて、99%の学校が自校の取組の参考となったと回答しているため。健康教育推進研究協議会において、9割以上の学校が「役立った」と回答しているため。	－	小学校における課題校への訪問指導を計画的に進める（3年次計画の3年目）とともに、中学校の研修を継続して実施する。健康教育推進リーダーに対し、国の研修への参加促進を図るとともに、初任者を対象としたリーダーによるオンライン学習会を開催し、リーダーの養成及び初任者への支援を行う。
1103	幼児教育の充実	概ね順調に展開	幼児教育推進センターが主催する各種研修事業等の定着が図られており、幅広い施設類型等から一定程度の受講者が確保できている。	－	幼児教育施設のニーズ等を踏まえ、研修内容の充実はもとより、研修日程や実施方法等の工夫、ホームページ等による研修情報の可視化などに取組み、保育者が参加しやすい研修機会の提供に努める。
1104	特別支援教育の推進	概ね順調に展開	調査において、特別支援教育に係る研修の受講率が増加（R4 58.2%→R5 60.5%）しており、教員の特別支援教育に関する理解・知識が高まっている。	－	引き続き研修会を開催するとともに、教員が受講しやすいようオンデマンドで研修会を配信するなど工夫した研修を開催する。
1105	ふるさと教育の推進	概ね順調に展開	指標に定める取組の割合が向上しており、今後、児童生徒の質問調査等で結果の変容が見込まれるため。	－	指標の達成状況に基づき、より効果的・効率的な研修や成果普及の方法について検討を行う。
1106	キャリア教育の充実	概ね順調に展開	今後の実施・開催に向けて計画が進行中であるため。	－	関係部局との連携に加え、「北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト」における教員向け研修などの充実を図っていくほか、生徒が仕事の魅力や地域のよさを実感できるよう、高校と地域や働く人との連携を促進する。
1107	ICTの活用推進	概ね順調に展開	上記《人材の育成・確保対策に関連する主な取組》に記載した取組に加え、授業におけるICT活用に関する取組事例や学習コンテンツの情報を掲載した広報誌やポータルサイト等による情報発信により、統計数値が上昇傾向にあるため。	－	道内外の好事例を発信し、ICT活用に関する知見の共有を進めるとともに、校内研修を促進することでそれぞれの学校が自律的に取組を進めることができるように支援するほか、ICTの活用に課題を抱えている学校や自治体に対し、活用促進や環境整備等に関する重点的な支援を行う。
1108	生涯学習・社会教育の振興	効果的な取組を検討	様々な取組や工夫を行っているが、社会教育主事の配置率に課題がみられることから、「効果的な取組を検討」とした。	社会教育の専門性を有する人材の育成・確保に向けては、必要な知識やスキルを身に付けるための専門研修などを実施してきているが、より効果を高めるため、受講しやすい研修となるよう工夫するとともに、地域の教育機関や団体等と連携した実践的な研修とするなど、社会教育人材の育成・確保、資質の向上に向けた取組を検討する必要がある。	オンライン配信の本数を増やすなど、一層受講しやすい「社会教育主事講習」となるよう工夫するとともに、実務経験に応じた段階的な研修機会の設定や社会教育主事有資格者のつながりを創出するための取組の充実によりネットワークの構築支援を行う。
1109	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	効果的な取組を検討	校内研修やメタバースを活用した支援の内容について、実情を踏まえて効果的な取組になるよう検証する必要がある。	いじめや不登校に関し、すべての教職員がより実践的な研修を通じて児童生徒への共通理解を深め、支援、指導できる体制となるよう教員研修の内容を工夫するなどさらなる充実に取り組む必要がある。	オンライン教材の活用も含め、生徒指導上の対応について校内研修で活用できる資料を作成し、周知する。メタバースを活用した不登校児童生徒の支援の在り方について、関係者や当事者の意見を聴きながら運用方針を検討する。
1110	防犯教育・交通安全教育の充実	効果的な取組を検討	見守り活動に参画するための人材育成に取り組む市町村が限定される。	児童生徒の安全確保対策には家庭や地域と連携した見守り活動が重要であることから、スクールガードリーダーの配置に取り組む市町村の増加やスクールガードなどのボランティアの養成・資質の向上を図る取組を検討する必要がある。	学校安全体制の整備の推進を図るため、引き続き、国の補助事業である「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」における補助率の引き上げなどを国に要望するとともに、事業を活用した人材育成が図られるよう市町村との連携を進める。
1111	国際理解教育の充実	概ね順調に展開	計画通り取組が進められている。	－	英語担当指導主事による学校訪問において、英語教員の英語力の向上が、授業改善やグローバル化に対応した生徒の育成につながることを丁寧に説明する。
1114	文化芸術活動の推進	順調に展開	取組が順調に進められている。	－	文化芸術活動の普及啓発を推進し、道民が文化芸術活動に触れる機会を増やし、新たな担い手の発掘・確保に繋げていく。
2101	治安対策の推進	効果的な取組を検討	サイバー捜査研修を開始するなど人材の育成を推進しているものの、人材の確保をめぐる情勢は依然として厳しいことから、引き続き、効果的な取組を検討する必要がある。	警察で働くことの魅力発信に向けた取組を進めるとともに、若手警察職員の早期育成やベテラン職員の指導力の向上を図るなど社会情勢の変容に伴って日々複雑化する治安事象に適応する人材の育成・確保に向けた取組の検討が必要である。	職業体験をはじめとした警察業務に興味を持つてもらうための取組を推進するほか、試験実施日の見直しなどを通じて、受験者の裾野拡大を図る。受験から採用までの各種制度等の在り方に関する抜本的検討を実施する。